ATH-DWL550

取扱説明書 / デジタルワイヤレスヘッドホンシステム

audio-technica

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

■ 同梱品を確認する

本製品をご使用になる前に、下記の同梱品がすべてそろっていることを確認してください。
万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社お客様相談窓口までご連絡ください。

・ヘッドホン
(ATH-DWL550R)

・トランスミッター
(AT-DWL550T)

・ACアダプター
(AD-SE0510AO)

・取扱説明書(本書)

・保証書

■ 安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

■ ヘッドホンについて

⚠ 警告

- **心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以内の位置では使用しない**
  ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。
- **本製品を医療機器の近くで使用しない**
  電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- **肌に異常を感じた場合は、使用しない。**
  すぐに使用を中止してください。症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。

⚠ 注意

- **耳をあまり刺激しない適度な音量で使用する**
  大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。
- **直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない**
  故障、不具合の原因になります。
- **分解や改造はしない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **火気に近づけない**
  変形、故障の原因になります。
- **ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない**
  変形、故障の原因になります。
- **ジョイント部に指などを挟まない**
  けがや事故の原因になります。

■ トランスミッターについて

⚠ 警告

- **心臓ペースメーカーの装着部位から 15cm 以内の位置では使用しない**
  ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。
- **本製品を医療機器の近くで使用しない**
  電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- **付属の AC アダプター以外は使用しない**
  故障、不具合の原因になります。
- **異常に気づいたら使用しない**
  異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあったら、すぐにコンセントから抜き、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
- **分解や改造はしない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電やけがの原因になります。
- **水をかけない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **布などで覆わない**
  過熱による火災やけがの原因になります。
- **同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない**
  事故や火災の原因になります。

⚠ 注意

- **不安定な場所に設置しない**
  転倒などによりけがや故障の原因になります。
- **直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない**
  故障、不具合の原因になります。
- **火気に近づけない**
  変形、故障の原因になります。
- **ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない**
  変形、故障の原因になります。

■ ACアダプターについて

⚠ 警告

- **本製品以外には使用しない**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない**
  異常に気づいたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店か当社のサービスセンターに連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- **コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする**
  断線、故障の原因になります。
- **コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない**
  断線、故障の原因になります。
- **分解や改造はしない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電によるけがの恐れがあります。
- **布などで覆わない**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない**
  変形、故障の原因になります。

⚠ 注意

- **長時間使用しないときは、コンセントから抜く**
  火災の原因になることがあります。安全のため、必ずコンセントから抜いてください。また、省エネルギーにご配慮ください。
- **足に引っ掛かりやすい場所にコードを引き回さない**
  故障や事故の原因になります。
- **通電中のACアダプターに長時間触れない**
  低温やけどの原因になることがあります。

■ 充電式電池について

本製品は、充電式電池(リチウムポリマー電池)を内蔵しています。

⚠ 危険

- **電池の液が目に入ったときは目をこすらない**
  すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。
- **火の中に入れない、加熱、分解、改造しない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **落下させたり強い衝撃を与えない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **以下の場所で使用、放置、保管しない**
  ・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
  ・炎天下の車内
  ・ストーブなどの熱源の近く
  液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- **水に濡らさない**
  発熱、破裂、発火の原因になります。
- **電池の液が漏れたときは素手で液を触らない**
  ・液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
  ・万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
  ・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

- **付属の AC アダプター以外をトランスミッターに使用して充電を行わない**
  故障や火災の原因になります。

■ 本製品を廃棄する場合　リサイクルのお願い

Li-ion

内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を下記宛先まで着払いにてお送りください。なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますので予めご了承ください。

送り先:　〒915-0003　福井県越前市戸谷町87−1
株式会社オーディオテクニカフクイ　二次電池回収担当　宛
TEL : 0778-25-6736

■ 内蔵充電式電池の交換について

本製品を充分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。
内蔵充電式電池の交換は、お客様ご自身で行わず、当社サービスセンターへご相談ください。

●サービスセンター　0120-887-416
（携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0212）

■ 使用上の注意

- ご使用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 万一、接続機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- 交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので本製品の故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また、水がかからないようにしてください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- 本製品の近くに電子機器や発信機（携帯電話など）があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- 内蔵充電式電池を保護するため、半年に1度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなる、充電しなくなるなどの恐れがあります。
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所（**目安として10〜35℃**）で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。
- ラジオを接続しないでください。ラジオの音声にノイズが入ることがあります。
- トランスミッターには磁気カードなどを近づけないでください。故障の原因になります。

■ デジタルワイヤレス製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

- 本製品は、各国の電波法の適合または認証を取得している国でのみ使用できます。販売国以外では使用できません。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。無線局の免許は必要ありません。
- 本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。貼り付けられているラベルはその証明ラベルです。証明ラベルの貼り付けられた製品を総務省の許可なしに改造、または証明ラベルをはがして使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。
- 本体の表示について

2.4FH8 ■■■　この無線機が 2.4GHz 帯を使用し、AFH 変調方式、与干渉距離が 80mであることを表します。

■ ほかの機器との同時使用

Bluetooth® 搭載機器・無線 LAN を使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、下記の点に注意してください。

− 本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器を離して設置する。
− 病院内では使用しない。

■ お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

- 本体は乾いた布で汚れを拭いてください。
- イヤパッド、ヘッドバンドの汚れは乾いた布で拭いてください。イヤパッド、ヘッドバンドに汗または水が付着すると色落ちする場合があります。その際は乾いた布で拭き取り、陰干しすることをおすすめします。

・長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。
・イヤパッドは消耗品です。保存や使用により劣化しますので、お早めに交換してください。
　イヤパッドの交換や、そのほか修理については当社サービスセンターへお問い合わせください。

■ テクニカルデータ

ヘッドホン部

型式	密閉ダイナミック型
ドライバー	φ42mm
出力音圧レベル	99dB/mW
再生周波数帯域	5 ～ 40,000Hz
RF 出力	7.9mW EIRP
電源	DC3.7V リチウムポリマー電池（内蔵式）
質量	約 257g

トランスミッター部

最大通信距離	見通しの良い状態で 30m 以内
RF 出力	8.2mW EIRP
使用周波数帯域	2.4GHz 帯（2.404 GHz ～ 2.476GHz）
変調方式	AFH
伝送帯域	20 ～ 20,000Hz
入力端子	φ3.5mm ステレオミニプラグ
電源	DC5V（付属の AC アダプターを使用）
外形寸法	約 113×95×119mm（H×W×D）
質量	約 170g

その他

充電時間	約 4 時間 *
使用可能時間	連続通信：最大約 12 時間 *
使用温度範囲	5℃～ 40℃
付属品	トランスミッター専用 AC アダプター（AD-SE0510AO）
別売	交換イヤパッド（HP-DWL550）、増設用ヘッドホン（ATH-DWL550R）

*使用条件により異なります。

改良などのため予告なく変更することがあります。

・Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc.の所有であり、株式会社オーディオテクニカは、ライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。

■ 故障かな?と思ったら

接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

■ 電源が入らない

・本製品を充電してください。

■ 本製品の充電ができない

・ヘッドホンをトランスミッターに確実に置いてください。
・乾いた布で充電端子の汚れを拭いてください。
・適正な温度の場所 (目安として 10℃～ 35℃) で充電してください。

■ 音が出ない／音が小さい

・本製品と接続機器の電源を入れてください。
・本製品と接続機器の音量を大きくしてください。
・トランスミッターの AC アダプターとコンセントの接続を確認してください。
・トランスミッターの電源が入っていることを確認してください。
・本製品とトランスミッターの間に障害物を無くし、距離を近づけてください。
・トランスミッターをモノラル仕様の機器に接続する場合右側の音が出ないので、その場合は市販のプラグアダプター【φ3.5mm ステレオミニジャック⇒φ3.5mm モノラルミニプラグ】をご使用ください。

■ 音が割れる／ノイズが出る／音が途切れる

・接続機器の音量を小さくしてください。
・本製品から電子レンジ、無線 LAN などの機器を離してください。
・本製品からテレビ、ラジオやチューナー内蔵機器を離してください。これらの機器に影響を与える場合があります。
・接続機器のイコライザー設定をオフにしてください。
・本製品とトランスミッターの間に障害物を無くし、距離を近づけてください。

・不具合が解消されない場合は、本製品をリセットしてください。リセットは「リセット機能について」を参照してください。

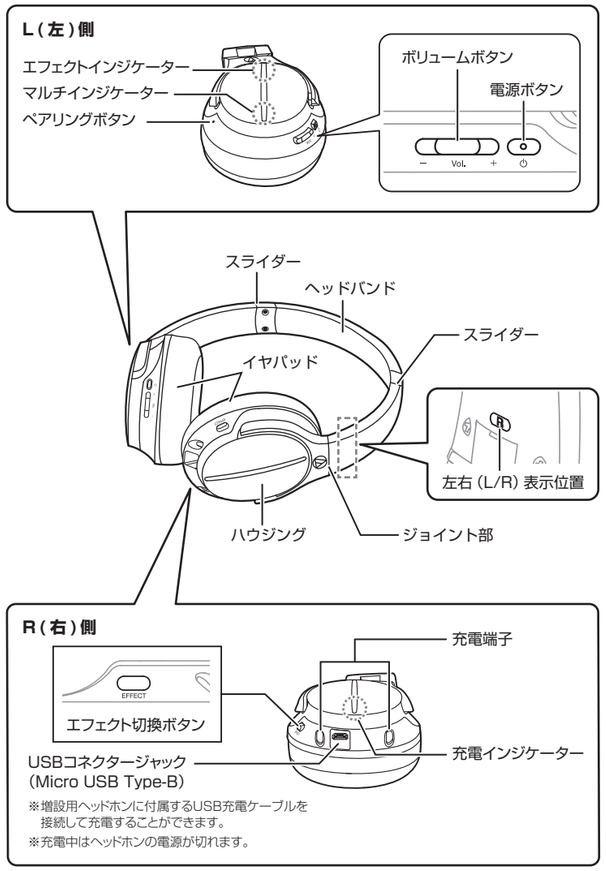
アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続･注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間･規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先（電話受付/平日9:00〜17:30）
製品の仕様･使いかたや修理･部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。
● **お客様相談窓口（製品の仕様･使いかた）**　0120-773-417
（携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX:042-739-9120　Eメール:support@audio-technica.co.jp
● **サービスセンター（修理･部品）**　0120-887-416
（携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX:042-739-9120　Eメール:servicecenter@audio-technica.co.jp
● **ホームページ（サポート）**　www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市西成瀬 2-46-1
www.audio-technica.co.jp
132313070-01-01　ver.1　2017.04.28

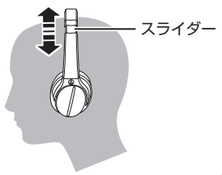
■ 各部の名称

■ ヘッドホン（ATH-DWL550R）

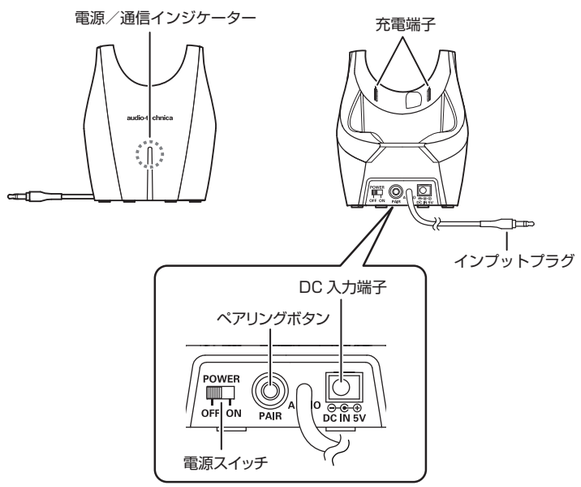


装着のしかた

本製品の“L(左)”の表示側を左耳に、“R(右)”の表示側を右耳に装着し、イヤパッドが耳全体を覆うようにスライダーを上下にスライドさせ、ヘッドバンドを調整します。



■ トランスミッター（AT-DWL550T）



■ 充電のしかた

・初めて使用する際は、必ず充電を行ってください。
・初めて充電するときや長時間使用していないときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。その際は、何回か充放電を繰り返すと通常の充電ができるようになります。

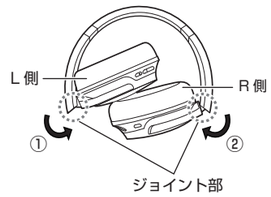
1 トランスミッターと付属の AC アダプターを接続し、AC100V コンセントに接続します。

2 トランスミッターの電源スイッチを「ON」にします。

・電源／通信インジケーターが赤く点灯します。

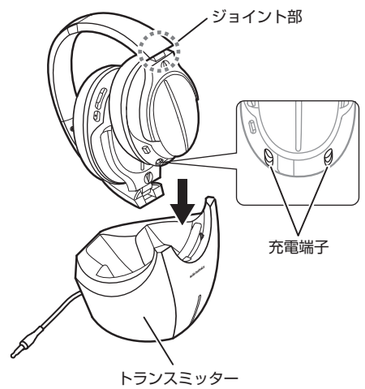
3 スライダーを閉じます。

4 先に本製品のジョイント部を支点に、L 側ハウジングをヘッドバンドの内側へしっかりと折りたたみます。次に充電端子がある R 側のハウジングを折りたたみます。



5 トランスミッターの上に置いて充電を開始します。

・R 側のハウジングとトランスミッターの充電端子が合わさるようにゆっくり置いて、充電を開始します。
・充電が開始すると、ヘッドホンの充電インジケーターが赤色に点灯します。
・ヘッドホンの充電インジケーターが消灯すると充電完了 (最長約 4 時間) です。



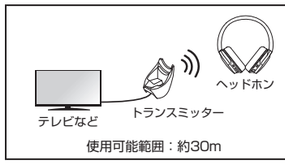
・ジョイント部に指などを挟まないようにご注意ください。
・本製品をご使用の際は、必ずハウジングを元の位置に戻してご使用ください。

■ 充電時のインジケーターについて

動作状態	インジケーター表示パターン ●赤色	
充電中	━━━━━━━━━━━━━━━━ …	点灯
満充電	- - - - - - - - - - - - - - - - - - …	消灯
充電エラー	● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● …	点滅

R 側

■ 使いかた



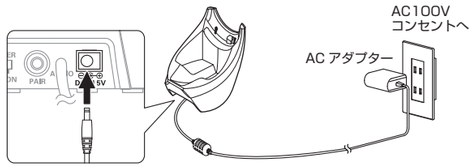
2.4GHz のワイヤレス伝送で、テレビなどの音声を遅延が少なく聴くことができます。

・トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がある場合や建物の構造によっては、使用可能な距離が短くなる場合があります。
・本製品はお買い上げ時、ヘッドホンとトランスミッターがペアリングされています。別売の増設用ヘッドホン（ATH-DWL550R）を使用する場合や、万一お買い上げ時のペアリングがリセットされてしまった場合には、改めてペアリングを行ってください。

■ トランスミッターを準備する

トランスミッターの電源が「OFF」になっていることを確認してください。

1 トランスミッターと付属の AC アダプターを接続し、AC100V コンセントに接続します。

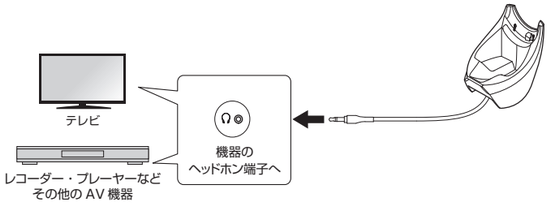


2 トランスミッターの電源を入れます。

■ 機器へ接続する

接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

トランスミッターのインプットプラグを接続する機器のヘッドホン端子に接続します。



■ テレビなどの音声を聴く

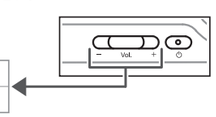
1 ヘッドホンのマルチインジケーターが点灯するまで電源ボタンを長押しします。

・電源が入るとマルチインジケーターが青色に点灯します。

2 ボリュームボタンを押して音量を調節します。

・音声が歪む場合は、接続機器の音量を小さくしてください。
・音量が最大／最小になると確認音が鳴ります。

ボリュームボタン			
＋ボタン	短押し	音量アップ	音量が1段階大きくなります。
－ボタン	短押し	音量ダウン	音量が1段階小さくなります。



3 使用後はヘッドホンのマルチインジケーターが消灯するまで電源ボタンを長押しします。

■ インジケーターについて

トランスミッター、ヘッドホンのインジケーターが、以下のように表示されます。

<電源／通信インジケーター>

動作状態	インジケーター表示パターン ●赤色 ●青色	
ペアリング中	● ● ● ● ● ● ● ● ● …	点滅
通信中	━━━━━━━━━━━━━━━━ …	点灯
電源ON時	━━━━━━━━━━━━━━━━ …	

<マルチインジケーター>

動作状態	インジケーター表示パターン ●青色	
ペアリング中	● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● …	点滅
通信中	● - - - - - - ● - - - - - - ● …	
通信待ち	━ - - - ━ - - - ━ - - - ━ …	

L 側

・ヘッドホンの電池残量が少なくなると、赤色に点滅します。

■ SOUND VISION effectについて

楽曲や好みに合わせてエフェクト機能を切り換えることができます。エフェクト切換ボタンを押すごとに [OFF→バーチャルサラウンドモード→ゲームモード→クリアボイスモード→OFF→・・・・]の順にエフェクト機能が切り換わります。選択するエフェクト機能によってエフェクトインジケーターの点灯する色が変わります。

エフェクト機能		表示色
OFF	再生する機器の音をそのまま伝送します。	消灯
バーチャルサラウンドモード	立体描写に優れており、臨場感のある映画鑑賞などに適しています。	紫色
ゲームモード	効果音や爆発音、BGMなどの迫力のあるゲームプレイに適しています。	黄色
クリアボイスモード	ドラマやニュースのセリフやボーカル、ナレーションなど人の声が聞き取りやすくなります。	緑色

L 側

・お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

■ その他の機能

■ オートパワーオフ機能について

本製品はオートパワーオフ機能があります。トランスミッターがONの状態で約5分間音声信号がない、もしくは機器の音量が小さい状態が続くと、自動的に省電力の状態になります。また、ヘッドホンはトランスミッター停止後、約5分で自動的に電源OFFになります。

■ リセット機能について

本製品が動作しないなど、不具合が生じた場合は充電中にヘッドホンのボリュームボタン(＋)を押すことでヘッドホンがリセットされ症状が改善します。改善しない場合は、お手数ですが当社サービスセンターまでお問い合わせください。リセットしても、ペアリング設定や音量などは初期化されません。

■ ヘッドホンをペアで使う

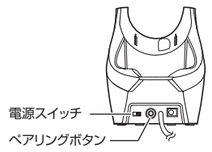
増設用ヘッドホン ATH-DWL550R(別売) をお買い求めいただくと、ヘッドホンを 2 台同時に使用することができます。使用前にトランスミッターとのペアリングが必要です。

ヘッドホンとトランスミッターのペアリングのしかた

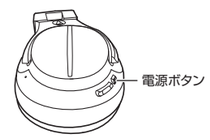
・本製品はお買い上げ時、ヘッドホンとトランスミッターがペアリングされています。
・新たにヘッドホンを増設したり、ペアリングがリセットされてしまった場合は、下記の手順で再度ペアリングを行ってください。

1 トランスミッターの電源スイッチを「ON」にします。

・トランスミッターとヘッドホンを 1m 以内に近づけ、間に障害物が無いことを確認してください。



2 ヘッドホンのマルチインジケーターが点灯するまで電源ボタンを長押しします。



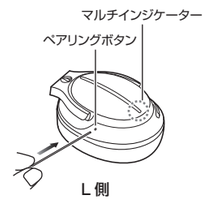
L 側

3 トランスミッターのペアリングボタンを押します。

・トランスミッターの電源／通信インジケーターが青色と赤色で交互に点滅します。

4 ヘッドホンのペアリングボタンを押します。

・ペアリングボタンの穴に細い棒などを差し込み、ボタンの感触があるまで押してください。
・この操作はトランスミッターのペアリングボタンを押してから 15 秒以内に行ってください。
・ヘッドホンのマルチインジケーターが青色に点滅し、点滅がゆっくりになるとペアリング完了です。またトランスミッターの電源／通信インジケーターが青色に点灯します。



L 側

・ヘッドホンのマルチインジケーターが通信待ちの表示になった場合はペアリングが完了していません。その際は再度ペアリングを行ってください。